

# 鷺泊港 フェリーターミナル

北海道内の離島では初の「ボーディングブリッジ」を有した「フェリーターミナル」が供用開始

## ■経過と概要

鷺泊港は、利尻島の東側に位置し、利尻富士町が管理する地方港湾です。本港は、利尻島の玄関口として稚内、礼文と結ぶフェリー航路を有するとともに、地域の基幹産業である水産業、観光業など地域の経済を支えており、重要な役割を担っています。

しかしながら、鷺泊港は、フェリー岸壁の老朽化が進んでいることから、安全に使うことができないような状況でありました。

また、離島フェリーを利用する高齢者や身体に不自由のある方をはじめ、島民や観光客にとっても使いやすいフェリーターミナルが求められていました。

そこで、このような問題に対処するため、水深6mフェリー岸壁、ボーディングブリッジを備えたフェリーターミナルが完成しましたので供用を開始します。

## ■事業の概要

### 「水深6mフェリー岸壁」

事業内容	岸壁（水深6m）〈改良〉
事業期間	2012年度～2013年度
事業主体	国土交通省・北海道開発局

### 「フェリーターミナル」

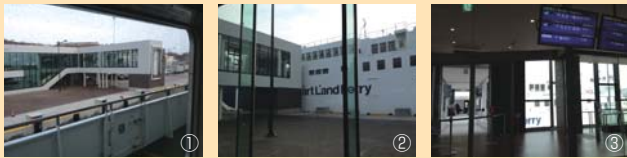
事業内容	フェリーターミナル
事業期間	2012年度～2013年度
事業主体	利尻富士町

## ■鷺泊港 離島航路の変遷

離島航路は、島民の生活交通手段であるとともに生活に必要な食料や生活必需品などを運ぶ物資輸送手段として機能しており、島民の生活の安定性の向上や産業の振興にとって重要な役割を担っています。

鷺泊港には、1970（昭和45）年に最初のカーフェリー「第一宗谷丸」が導入され、生活を支える航路として、フェリーの大型化を図り輸送力を強化してきました。

1970（昭和45）年 「第一宗谷丸（537t）」が就航
1972（昭和47）年 「第二宗谷丸（988t）」が就航
1984（昭和59）年 「第十宗谷丸（1,554t）」が就航
1986（昭和61）年 「第十一宗谷丸（1,982t）」が就航
1989（平成元）年 「ニュー宗谷（3,520t）」が就航
1992（平成4）年 「クインズ宗谷（3,531t）」が就航
1995（平成7）年 「プリンス宗谷（3,554t）」が就航
2001（平成13）年 「フィリーズ宗谷（3,551t）」が就航
2003（平成15）年 「ボレアス宗谷（3,578t）」が就航
2008（平成20）年 「サイプリア宗谷（3,555t）」が就航



①岸壁に近づくフェリー  
②ボーディングブリッジと連結  
③2階待合ロビーより望む



強い雨風や夏の日差し、冬の寒さからがっちり守ってくれるボーディングブリッジ。

をつくりだす「みなとオアシス」の拠点としても最大限活用していきたいと考えております」とのこと。

「海の駅おしどまり」は、白い壁を基調とした鉄筋コンクリート2階建て延床面積は旧施設の約2倍。2階待合ロビーとフェリーとをボーディングブリッジでつなぐことで、雨風に当たることなく乗降できます。道内の離島として初めてボーディングブリッジが採用されましたが、そのほかにも24人乗りの大型エレベーター、島内初となるエスカレーターも設置されました。また、1階には観光案内所をはじめ売店、コインロッカーなど。2階には授乳室やキッズスペースもあり、お子さん連れでも安心して旅をすることができま。飲食店も5月末に2店舗開店予定です。

ネット環境も完備され、身体障がい者にも対応した多目的トイレも整備されました。

救急搬送用ストレッチャーが入る大型仕様



2階待合ロビーとエレベーター

## 鷺泊フェリーターミナル

利尻郡利尻富士町鷺泊字港町  
構造／鉄筋コンクリート造2階建  
規模／敷地面積 7,350.760m<sup>2</sup>  
延床面積 2,077.384m<sup>2</sup>  
[内訳] 1階面積 805.670m<sup>2</sup>  
2階面積 1,137.654m<sup>2</sup>  
R階 15.750m<sup>2</sup>  
ボーディングブリッジ 118.310m<sup>2</sup>  
着工／2012（平成24）年3月29日  
竣工／2014（平成26）年2月17日  
供用開始／2014（平成26）年3月25日  
主な施設機能／待合ロビー、観光案内所、バス案内所、売店、トイレ（多目的トイレ含む）、コインロッカー、エレベーター、エスカレーター、ボーディングブリッジ、水飲場、授乳室、インターネット接続カウンター、キッズスペース、飲食店2店



1階（待合ロビー・きっぷ売場・観光案内所）



利尻富士町

# 新しく「海の駅おしどまり」がOPEN！ 鷺泊フェリーターミナル

わがママチじまん

利尻島の海の玄関口、鷺泊港。1983（昭和58）年に完成した旧フェリーターミナルも築30年が経過し、老朽化が進んでいたことに加え、観光客の増加によって施設も狭くなり待ち合いスペースも不足がちでした。また、バリアフリーに未対応であったため、高齢化が進む利尻島民や観光客へも不便を強いいる状態が続いていました。そこで、利尻富士町では新施設の建設にあたり、すべての島民にとって使いやすく、あらゆる観光客をスムーズに受け入れるためにバリアフリー対応型施設をめざし、2012（平成24）年3月29日から新フェリーターミナル工事に着工。そして、いよいよ今春「海の駅おしどまり」という施設名となって3月25日に供用を開始しました。

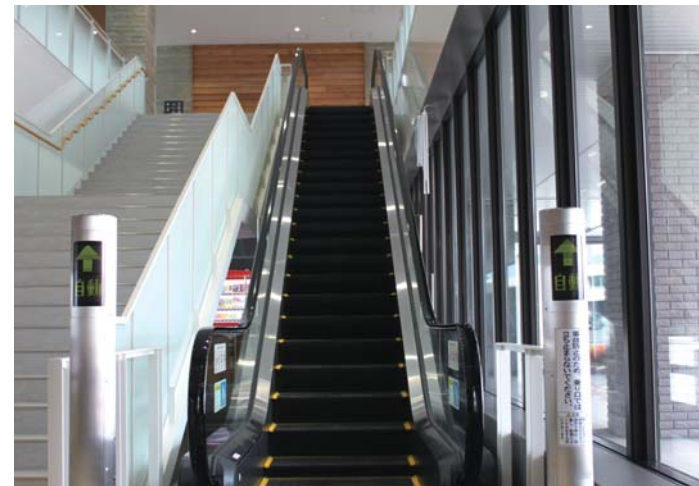
新しく生まれ変わったフェリーターミナル「海の駅おしどまり」を見学するとともに、利尻富士町役場産業建設課・課長補佐の牧野力さんにお話を伺いました。

「工事中は、仮設フェリーターミナルでご不便をおかけして来ましたが、おかげさまで島民の方や観光客のみならず、大変便利になって良かった」とのお言葉をいただき、私どもも安堵しつつ感謝しているところです。フェリーターミナルは名称も新たに「海の駅おしどまり」とし、利尻島の玄関口としての役割はもろろんのこと、人々の賑わいや交流

そして何よりも自然豊かな景観美にあふれる利尻島ですから、2階の大きな窓から四季折々に、秀麗な「利尻富士」とペシ岬などを一望することができます。

今後はここ「海の駅おしどまり」を地域活性化や情報発信の拠点とし、島の景観や見どころを活用しながら楽しい祭りや各種イベントの実施、隣接する各施設との連携を図ることで、港全体が「ふれあいの拠点」として賑わっていきのうだと思えます。

3月25日、待望のオープン！



大きな窓からの採光が心地良いエコ対応のエスカレーター回り



陸側と海側から見た新しいフェリーターミナルビル

## 利尻富士町 WEB LINK

- ホーム利尻富士町  
<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp/rishirifuji/>
- 利尻島 観光案内  
<http://kankou.rishiri.jp/new/index.html>
- 利尻富士町観光協会（利尻島）facebook  
<https://www.facebook.com/rishirifuji.kanko>
- ハートランドフェリー  
<http://www.heartlandferry.jp/>

## 利尻富士町 ACCESS MAP

- フェリー
    - 稚内－鷺泊／1時間40分
    - 稚内－鷺泊／3時間5分（礼文経由）
    - 鷺泊－香深／40分
  - 飛行機
    - 丘珠空港－利尻空港／55分（HAC）
    - 新千歳空港－利尻空港／50分（ANA）
- ※ANAは夏期のみ季節運航（6/1～9/30）

